

伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 木曾岬町白鷺付近の木曾川左岸の破堤箇所及び堤内地を下流側から望む

エリア： 三重県

撮影箇所： 木曾岬村

撮影日： 1959年

撮影者： 旧建設省

資料提供者： 木曾川下流河川事務所

状況： ー

現地状況、コメント等

伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものである。

木曾川左岸 3.4k 付近の様子とされている。破堤箇所は、樋管があったとされている。

踏査時の調査表には以下のように整理されている。

<10月14日 災害状況調査表>

●堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：決壊、法線方向：北北西、道路を兼用しているか：兼用、土質：砂質土、水防状況：不可能

●溢流しているか／溢流している、その時刻：≒20時～20時30分、溢流深(波立)：≒1.0m

●波の来た方向：南南東、しぶきがこしたか：あった、その高さ：≒2m以上

●木の傾いている方向：北、何度位(地面に対し)：60°、樹種：マツ

●木の倒れている方向：北北東、根入深さ：≒2.0m、木の太さ：0.8m、樹種：マツ

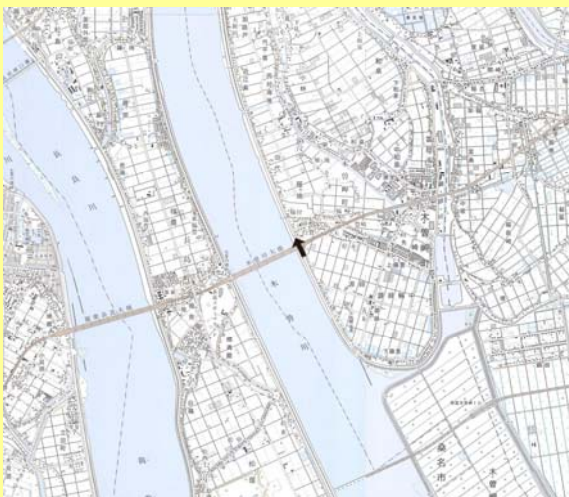
●電柱が傾いている方向／何度位：60°、電線がついているか：ついている

●草がねていたか／その方向：北東、場所：表法肩、大きさ：1.0m

●灌木は残っているか／残っている、大きさ：1～3m

●堤内地の家の壊れ方／壁、屋根、柱：流失

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用